

災 害 現 認 書

〇〇年 〇〇月 〇〇日

地方公務員災害補償基金
栃 木 県 支 部 長 様

災害現認書を書いた
年月日

現認者 住 所 〇〇市〇〇町〇〇番地

所属・職名等具体的に 所属 〇〇市〇〇課主事

氏 名 〇 〇 〇 〇
被災職員との関係 (同 僚)

被災
職員

所 属

〇〇市〇〇課〇〇係

職・氏名

主事 栃 木 太 郎

現 認 の 日 時

〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 午前 〇時 〇〇分ごろ

現 認 の 場 所

〇〇市〇〇町〇〇先路上

災害発生の日時・場所ではなく、現
認した（報告を受けた）日時・場所

現認の状況

であることに注意。

現認者自身が見たままをありのままに「証言」として記入してください。（認定

請求書の「2 災害の発生状況」とらわれず、見ないことは書かないようにして
ください。）

また、目撃した人がいない場合は最初に被災職員から報告を受けた者が、本書の

「現認」を「報告受理」と読みかえて記載してください。

（記載要領） 私は〇〇のため〇〇していると、上記場所で突然ガシャーンという

音を聞いてふりむいたところ、〇〇さんが〇〇しているのを見ました。急いで〇〇

病院に連れて行きました。（報告受理の場合、〇〇さんから電話で〇〇した旨、報

告を受けました。）

※この現認書は、災害の目撃者（同僚）に作成してもらうこと。

また、目撃者がいない場合は、災害状況報告を最初に受けた者（上司）が作成すること。